



皆様の声をお聞かせ下さい。ご意見はFAXにて。

ホームページを開設しました。アドレスは <http://www.yasuoka.org/> です。

命と健康の安全保障は最優先の国家戦略です ～社会保障 2200 億円抑制の見直しに向けた決議～

5月27日、自民党厚生労働部会、社会保障制度調査会、雇用・生活調査会合同会議が開催され、「平成二十一年度概算要求に向けた決議」のなかで「平成21年度においては、社会保障の自然増の削減を行うべきではなく、安定的な社会保障財源の確保に向けた検討と併せて、国民の安心を確保するための諸施策について所要の予算の確保を図るべきである」旨を決議しました。

これまで社会保障予算については、「骨太の方針2006」における財政適正化の方針により、平成19・20年度予算においてその自然増を2200億円ずつ削減してきました。

しかし、最近では、鹿児島など地方の産科・小児科の深刻な医師不足問題や救急患者の受け入れ病院の不足問題など、命に関わる重大な問題が起こってきています。これ以上社会保障予算を抑制することは地方の医療の崩壊につながりかねません。わたしは、社会保障制度調査会の顧問として、この決議に沿って全力を尽くしつつ、財政規律の姿勢を崩さないためには、別途さらなる工夫と知恵を出すように頑張ります。

畜産酪農の危機的状況に特例措置を!!

わたしたちは、畜産酪農が危機的な状況にあることを踏まえ、例年より1ヶ月はやめて2月に緊急対策を含む畜産酪農対策をまとめ（おきはる通信255号「危機的な状況にある畜産・酪農～畜産県の鹿児島経済全体に極めて重大な決定～」にて関係記事掲載）、さらに、現在、6月初旬をめどにその後の飼料高騰などの状況に対応して、①配合飼料の価格安定対策②行政価格等の期中みなおし③生産コストの適正な価格転嫁の推進④国内自給飼料の拡大などの対策を懸命にまとめる努力をしています。

5月20日、農業新聞「アンテナ」の欄にわたしの写真と記事「緊急時には特例措置を」が掲載されましたので、その内容をご紹介します。

『 畜産農家を支援するため、独占禁止法で禁じられている、複数の生産者団体が共同で価格交渉を行うことについて「緊急時の適用除外を検討すべきだ」と提案するのは自民党の保岡興治氏（衆・鹿児島）。「国民全体で公正なリスク分担が必要」と考えるが、適正な価格転嫁は進まない。緊急時に限って生産者側の価格交渉力を強める特例措置を設けてはどうか、との提案だ。法務に詳しい元法相の提案だけに要注目。 』

●保岡興治著書「政治主導の時代」～中央公論新社～2100円(税込み) 大手本屋にて好評発売中!

●映画「チェスト」好評上映中～桜島錦江湾横断遠泳を通じ少年達が成長していく感動的なドラマです。

保岡代議士もPTA会長役で出演しています!